

鉢形だより



編集：鉢形地区まちづくり委員会 情報部会
 発行：鉢形地区まちづくり委員会
 責任者：委員長 椎名 茂樹
 情報部会部長 島林 総蔵
 住所：鹿嶋市鉢形台3-15-1
 TEL：90-3430
 FAX：90-3431



令和7年3月1日(土)発行 第75号

鹿島共同可燃ごみクリーンセンターへ移動研修



令和6年12月27日(木)参加者32名で、自分の捨てたゴミの行方を知り、分別の大切さや地域の環境問題をより身近に感じていただくことを目的に、「鹿島共同可燃ごみクリーンセンター」へ研修に行ってきた！職員の方から、可燃の袋に毎月20～30kgの不燃物が一緒に捨てられていることや、中には新聞紙に包んで捨てる人がいると聞いて参加者は驚きの声をあげていました。また、その不燃物の中にモバイルバッテリー(リチウムイオン電池)などが入っていると、発火や破裂により、火災や衝撃で施設が機能なくなってしまい、ゴミを処理できなくなる危険性が高いことも学びました。全員がゴミになってピットの中に入る体験ゲームを楽しみ、最後は大きな木が書かれた壁に感想や分かったことを書いて貼りました。片寄 実生さん(小4)は、「分別するとゴミが少なくなることが分かりました」と書いて楽しそうに貼っていました。参加者は、『捨てればゴミ・分ければ資源』を再認識し、有意義な時間を過ごすことができました。

第2回 新春鉢形かるた大会を開催しました

令和7年1月25日(土)鉢形公民館にて、「鉢形かるた」を通して地域の歴史や文化を深く知っていただき、地域の自慢を後世に語り継いでいくことや交流を目的に「第2回 新春鉢形かるた大会」が開催されました。参加者は、低学年の部10名、高学年の部15名、一般の部18名、シニアの部18名の4部門、計61名の参加者と実行委員や地域の協力者、平井中学校ボランティア生徒などの32名を含めた93名でした。

実行委員長の高田 麻須美PTA会長の挨拶から始まり、各部門ごとに予選、チャレンジ戦、準決勝、決勝と進み、緊張感があふれる中で奮闘した方々から、上位3名までが表彰されました。また、競技では、札を取る際、子どもたちの部門は「一瞬・一撃で取る」に対し、シニアの部門は「一呼吸おいて・かるたを探して取る」などと、

各部門ごとの特徴も見えました。場外で次の出番を待つ人たちは、「経験と勘がものをいうよね!」「文字集中に限る!」「絵を暗記する方が得策!」など、和気あいあいの光景が広がっていました。競技終了後、はちっこサポーターによるどんど焼き体験や地域の協力者による豚汁が振る舞われ、心も体も温まり会場は笑顔でいっぱいでした。



▲どんど焼き体験の様子



場外で次の出番を待つ人たちは、「経験と勘がものをいうよね!」「文字集中に限る!」「絵を暗記する方が得策!」など、和気あいあいの光景が広がっていました。競技終了後、はちっこサポーターによるどんど焼き体験や地域の協力者による豚汁が振る舞われ、心も体も温まり会場は笑顔でいっぱいでした。

新春 鉢形かるた大会

低学年の部

1位	鈴木 統也	さん
2位	大宮 茉奈	さん
3位	小野 琥太郎	さん

新春 鉢形かるた大会

高学年の部

1位	北村 陽向	さん
2位	藤崎 陽奈子	さん
3位	石津 大輝	さん

新春 鉢形かるた大会

一般の部

1位	大川 巧弥	さん
2位	戸島 明優美	さん
3位	若林 真由美	さん

新春 鉢形かるた大会

シニアの部

1位	榎本 笑子	さん
2位	飯島 静子	さん
3位	塙 啓子	さん

令和6年度 鹿嶋市地区対抗球技大会に出場



令和7年2月1日(土)「令和6年度 鹿嶋市地区対抗球技大会(ポッチャ)」がカシマススポーツセンターにて開催されました。鉢形地区の代表4チームは、12月に開催されたまちづくり委員会主催「ポッチャ大会」にて各コート(4コート)でそれぞれ1位になったチームが本大会へと出場しました。選手として初めて出場した水野 沙彩さん(小4)は、「とても緊張しましたが、とても楽しかったです。」と話していました。結果は、総合6位でした。地域の交流が深まった1日となりました。

- 鉢形レディース … 久光 安代さん、水野加羊子さん、水野 沙彩さん、
- ふる里会 A … 前川 文雄さん、松田 譲二さん、武藤 みつ子さん、榎本 笑子さん、小野寺 敬さん
- ふる里会 B … 藤沢 正己さん、山田 陽三さん、後藤 とし子さん、大塚 芳春さん、榎本 几久さん
- 高砂会 … 平山 英夫さん、青野 廣さん、米川 美智子さん、佐藤 信夫さん、青野 ひろ子さん、塙 啓子さん

はちっこ寺子屋 もちつき&凧あげ大会



▲杵と臼を使ったもちつき大会の様子

誰が一番高くあげることができるかを競い合い、子どもから大人まで楽しめました。

保護者の方は「今の時代じいじ・ばあばと暮らすことが少なくなって、子どもたちとお餅を食べる機会もとても少ない気がします。こうした体験を子どもたちにさせてもらえることがとてもありがたいです。」と話していました。

ときめき学級 昔あそび



▲あやとりを子どもたちに教えている様子

見せていました。子どもたちは、昔あそびを通して日本の伝統や地域の人とのつながりを学んだ一日となりました。

令和7年1月30日(木)鉢形小学校にて、鉢形地区シニアクラブ「高砂会」「ふる里会」「衛星会」の三つで構成されている「ときめき学級」18人と、1年生児童34人の計52人で昔遊びをしました。

ときめき学級のみなさんは昔遊びの先生になって、あやとり・おはじき・お手玉・竹とんぼ・めんこ・福笑い・だるま落とし・糸電話・けん玉・べいごま遊びなどに分かれて、子どもたちに楽しく遊び方を教えていました。

あやとりをしていた児童は「ねえねえ！ほら！ほうきがこんなに簡単につくれるようになったよ！」と、できるようになったあやとりを嬉しそうに周りの人に見せていました。

地域密着 鉢形人にインタビュー ~あなたの出番です~

指導者への道 柔道未経験 ゼロからのスタート



▲鉢形北区在住 梶田 樹記 さん

きっかけについて

次男が「柔道をやりたい！」と市内にある柔道のスポーツ少年団に加入し、送り迎えをしているうちに、少年団の代表から、「一緒に柔道をやらないか？」と声をかけていただいたことがきっかけでした。

それから、部活動が地域移行になると聞いたので、今までの経験を地域の子どもたちに活かせればと思い資格を取って指導者になろうと決心しました。

指導者としての活動について

約10年前くらいから、週2~3回18時から20時までの2時間カシマスポーツセンターの武道場で鹿嶋に限らず、神栖市や潮来市に住んでいる子

どもたちに指導しています。

苦労したことや努力したことについて

大人になって柔道未経験からスタートしたので、受け身や組み手から始まり、立ち技や寝技など一つ一つの技を覚えることに苦労しました。子どもたちが試合に臨む緊張などをまず自分が体験しなくてはと、子どもたちとは別の大会に出場しながら、スキルや経験を積むことに努力を重ね、二段の段位や審判の資格を取得しました。

特に思い出に残っていることは

市内の小さな大会でしたが、監督として子どもたちと一つになり挑んだ低学年団体決勝戦で、5人が全員きれいに1本勝ちを決めてくれました。

試合後に子どもたちとハグをして喜びを分かち合ったことがとても嬉しかったです。

最後に伝えたい事は

本当に“ゼロ”からスタートだったので、YouTubeやオリンピック選手の

競技を見てその手法を実践したり、筋トレでの体力づくりや技の習得と、がむしゃらに努力した結果、段別の県大会で3位を取ることができました。子どもたちにも何かやりたいと思ったら行動に移し、周りから何を言われても毎日コツコツ想いを持って継続していけば、自分の努力を見てくれる人は必ずいるし、日々の積み重ねは無駄にはならない。そして諦めなければ夢や希望は叶うと伝えたいです。

皆さん一緒に柔道しよう(>ω<) ♪ ☆!



▲子どもたちを指導している様子

☆ ☆ 編集後記 ☆ ☆
今年度、鉢形だよりの編集作業に関わり、いかに見やすく・読みやすく・どう伝えられるか等、それぞれ思いや意見をまとめてきました。それが地域の皆さんに届けば幸いです。H・S